

教育ってなんだっけ

子供達へ愛をこめて

滝沢茂男

教育ってなんだっけ

はしがき

英語で学校を意味するスクールという言葉の語源は、ギリシャ語のスコレーだとされています。このスコレーというのは「暇」という意味だそうです。つまり学校は暇とお金がある人が行けるところであり、子供たちにとって行かしてもらえない所でした。学校に行けない子供達は親の手伝いをしたり、きびしい労働をしなければならないということでした。

今日のわが国のように、子供達が皆学校に、さらには十八才位まで行くようになると、行かせてもらう所から、行かなければならない、行かされる所が変わってきたと考えてよいでしょう。義務教育とはよく言ったものだと思います。自分の希望でないのに学校へ行かされる。これを不本意就学というのだそうです。

そうした行かねばならない学校で、はじめを、感情的な体罰を、成長にマッチしていない内容の授業を体験しなければならぬとしたら、子供達はどうかなるのでしょうか。

高学歴化が進み、学校教育が制度として巨大化したために、関わりがある人も、利害を持つ人も大変な数になっています。

こうした状況の上に、豊かな時代、国際化の時代、情報化社会といった要因から、変わることを求められ、変わって行くであろう教育の内容に、多くの人が心配しているからこそ、かつて長洲神奈川県知事が騒然たる教育論議と訴えて、広汎な共感を得たのだと思います。

私も町の教育者として考え、文教委員として体験してきたことを市民の皆さんに知っていただきたいと思いました。これが、「教育ってなんだっけ、なんだっけ 子供達に愛を込めて」の講演会を開催した動機でした。

この本にはその顛末を一冊にまとめることで、町の教育者としての考えを知っていただくと同時に藤沢市の教育の現状をお知らせし、より多くの人に共に考えていただきたいという願いが込められています。

終わりに出版の基となった、この講演会でご多忙な中、御講演いただいた城所福之助先生、末広令三先生を始め、御協力いただいた皆様、御参加いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

平成元年一月

滝沢 茂 男

教育ってなんだっけ 目次

はしがき

1 序章

15

騒然たる教育論議／16

文教委員長就任／退任挨拶／後援会役員会にて

第一回部会／20

2 いじめについて

23

いじめ、委員会の議題に／24

いじめ問題委員会／いじめの捉え方／実態報告

子どもの側からの実態／解決に向けて

質疑／35

先生の不用意な言葉が子どもに大きな傷跡を残す

第二回部会／37

3 体罰について

39

体罰、委員会の議題に／40

体罰、対教師暴力委員会／42

体罰の事例の説明／氷山の一角か／対教師暴力の事例

対策／45

質疑／46

教師は愛情を持って勇敢に／分らない子出来ない子への体罰

教師の共通理解とはなにか／生徒との温かい人間関係が出来ない訳はなにか

子どもは教師をどう見ているか／校長と教職員の間の指導体制に不備がないか

私の経験、教師が気分で虐めじみた体罰を加える事なく／56

4 性教育について

61

不祥事委員会／62

質疑／62

組織団体としての評価／事故の察知できないシステム

性教育、委員会の議題に／65

性教育委員会／68

今後について

質疑／73

子供の心へ残した跡／教員の教育への姿勢／研修が大事

校長が学校教育から疎外／教育者としての心の持ち方

副読本、議題に／78

5 副読本そして副教材費について

副読本委員会／82

質疑／84

校長と教職員との不調和

副教材費、議題に／86

副教材費委員会／93

質疑／95

校長の考え方が表れるのか／そのほかの費用

一年を振り返って／100

6 未来に、新時代に

101

子供文化センター、議題に／102

子供文化センター委員会／103

アンケートの報告／市長と私の質疑／私の決意

質疑／107

名は子供の世界から

第二回役員会、後援会活動の合間に／109

未来を語る会

.....111

美感遊創の時代を語る／111

時代に対する考え方／112

生産の時代／114

豊かさへの問題提起／115

情報化社会、高齢化社会／116

時代の尖兵／118

ゴロ寝が一番／119

管理社会の下で／120

人生は文化活動、社会参加と共に／121

7 新時代の求める教育について

127

生涯学習の場の充実／128

生涯学習に資する図書館／130

第三回部会／134

学童保育について

.....136

質疑／137

市に求められる正直さ

これからの学童保育／枚方市の考え方／大和市の場合

野外教育施設について

.....149

情報化社会に向けて 152

視聴覚教育の充実 / 153

CAI教育について / 154

学校教育の中のCAI教育 / CAI教育の目的

田辺市立第一小学校児童の感想 / 時代感覚に遅れた藤沢市

石川先生の講演を聞いて 161

教育の目的 / これからの社会と教育 / 陰の部分に対する教育

時代にあった教育

運動の重要さとパリでの経験 / 166

行政に求められるもの / 166

国際化について 168

国際化に伴う問題点 / 168

世界で最も安全な国 / 固有の文化と日本社会の特殊性

固有の文化を越え異文化をどこまで理解できるか

I love you. / 訴訟社会への恐れ

世界の国々と共に / 173

臨教審、二十一世紀のための教育の目標

……………
175

四十人学級 / 176

少人数化は進む / 177

意識転換が必要 / 179

遊行寺赤門にて / 180

教員の研修が重要 / 181

8 教育行政報告会

会場にて / 188

城所先生の講演を聞いて / 189

学習動機の惹起 / 学校と指導者 / 教育ほど恐いものはない

末広先生の講演を聞いて / 193

9

終章

ジェネレーションギャップ／縦の教育と横の教育
忠臣蔵／セルフメイドマン／追いつき追い越せ
我がままで甘ったれ／アメリカの現状
辛抱と自己犠牲を見直せ／先生が立派ということは非常に大切
先生が悪いというな

よりよい教育をめざして／205

職員会議／208

教育は偏る事なく公正に／210